

# ひふみのあゆみ



ひふみワールド 追加型投信/海外/株式

## 2023年3月度 月次ご報告書

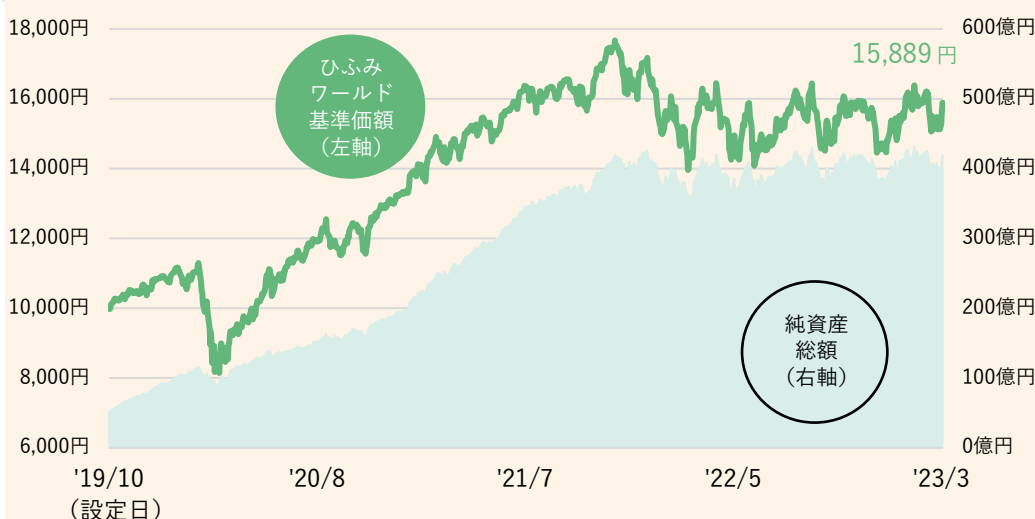
レオス・キャピタルワークスよりお客様へ  
資産形成のパートナーに「ひふみワールド」をお選びいただき、ありがとうございます。  
運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。



作成基準日：2023年3月31日

### 運用実績

#### 基準価額等の推移（日次）



※当レポートで言う基準価額とは「ひふみワールド」の一万口あたりの値段のことで、また信託報酬控除後の値です。

※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入銘柄比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については、小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「受益権総口数」とは、お客様に保有していただいている口数合計です。

※「ひふみワールド」は、ひふみワールドマザーファンド（親投資信託）を通じて実質的に株式へ投資しています。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「基準価額の変動要因」は、月間の変動額を主な要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は「株式・投資証券」「為替」や「基準価額変動額」と合わない場合があります。「株式・投資証券」のうち、アメリカには米ドル建て、欧州にはユーロ、イギリス・ポンド、スウェーデン・クローナ建て、アジア・オセアニアには香港ドル建て等の株式・投資証券が含まれます。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。

#### 運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ひふみワールド	-0.47%	8.13%	8.82%	-1.52%	79.29%	58.89%

#### ひふみワールドの運用状況

基準価額	15,889円
純資産総額	419.05億円
受益権総口数	26,373,622,419口

#### ひふみワールド 投資信託財産の構成

ひふみワールドマザーファンド	99.97%
現金等	0.03%
合計	100.00%

#### 基準価額の変動要因

基準価額変動額（月次） -75円

〔内訳〕

株式・投資証券	+190円
アメリカ	+150円
欧州	+36円
アジア・オセアニア	+4円
その他	+0円
為替	-246円
米ドル	-241円
ユーロ	+10円
香港ドル	-3円
その他	-12円
信託報酬・その他	-18円

#### 分配の推移（1万口当たり、税引前）

第4期	2023年2月	0円
第3期	2022年2月	0円
第2期	2021年2月	0円
第1期	2020年2月	0円
-	-	-
-	-	-
設定来合計		0円

※後述の「当資料のご留意点」を必ずご覧ください



## 資産配分比率などの状況

### ひふみワールドマザーファンドの状況

純資産総額 2,806.44億円

組み入れ銘柄数 142銘柄

### 資産配分比率

海外株式 93.72%

- -

現金等 6.28%

合計 100.00%

### 時価総額別比率

10兆円以上 32.47%

1兆円以上10兆円未満 43.27%

3,000億円以上1兆円未満 15.53%

3,000億円未満 2.45%

### 組み入れ上位10カ国 比率

1 アメリカ 65.63%

2 中国 5.04%

3 ドイツ 4.75%

4 スイス 3.68%

5 イタリア 2.49%

6 台湾 2.24%

7 アイルランド 1.94%

8 フランス 1.79%

9 オランダ 1.68%

10 イギリス 1.30%

### 組み入れ上位10通貨 比率

1 米ドル 74.59%

2 ユーロ 7.86%

3 スイス・フラン 3.68%

4 中国元 2.11%

5 イギリス・ポンド 1.46%

6 台湾ドル 1.20%

7 香港ドル 1.14%

8 ノルウェー・クローネ 0.63%

9 オーストラリア・ドル 0.47%

10 スウェーデン・クローナ 0.34%

### 組み入れ上位10業種 比率

1 ソフトウェア・サービス 19.94%

2 半導体・半導体製造装置 10.93%

3 資本財 9.66%

4 自動車・自動車部品 9.28%

5 食品・飲料・タバコ 7.07%

6 一般消費財・サービス流通・小売り 4.89%

7 耐久消費財・アパレル 4.89%

8 メディア・娯楽 4.81%

9 テクノロジー・ハードウェアおよび機器 4.49%

10 消費者サービス 3.68%

※「資産配分比率」「時価総額別比率」「組み入れ上位10カ国比率」「組み入れ上位10通貨比率」「組み入れ上位10業種比率」はマザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「資産配分比率」の株式には新株予約権を含む場合があります。「海外投資証券」はREIT（不動産投資信託）等です。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「時価総額別比率」は基準日時点のBloombergの情報を基に作成しております。

※「組み入れ上位10カ国比率」は原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。

※「組み入れ上位10業種比率」は株式における上位業種を表示し、原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しております。



## 銘柄紹介（基準日時点の組入比率1~10位）

	銘柄名	国	通貨	業種	組入比率
	(銘柄名カナ)				
	銘柄紹介				
1	COMPAGNIE FINANCIERE RICHEMONT SA (フィナンシエール・リシュモン)	スイス	スイス・フラン	耐久消費財・アパレル	2.71%
	スイスの高級宝飾・時計ブランド。カルティエ、ヴァンクリーフ&アーペルやピアジェ、A.ランゲ&ゾーネ、オフィチーネ・パネライ、IWC、ボーム&メルシエなどのブランドを展開。景気に左右されにくい顧客構成が強み。				
2	MOTOROLA SOLUTIONS, INC (モトローラ・ソリューションズ)	アメリカ	米ドル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.67%
	総合電子通信機器メーカー。データのキャプチャー、無線、バーコード・スキャン、無線ブロードバンドネットワークを開発。公共の安全や政府向け製品も製造。				
3	FERRARI NV (フェラーリ)	イタリア	米ドル	自動車・自動車部品	2.49%
	高級スポーツカーを設計・製造。高単価・少量生産のニッチラグジュアリーブランド。個別の顧客ニーズに合わせたカスタマイズ製造が特徴的。景気後退局面でも超富裕層のニーズは底堅く推移。				
4	TETRA TECH, INC (テトラ・テック)	アメリカ	米ドル	商業・専門サービス	2.48%
	経営コンサルティングとエンジニアリングサービスを提供する企業で、事業内容は主に水、環境、インフラ、資源管理、エネルギー、および国際開発サービスに注力。世界各地の政府・法人向けを顧客として事業を展開している。				
5	PALO ALTO NETWORKS, INC. (パロアルト・ネットワークス)	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.26%
	ネットワークをサイバー攻撃から保護するセキュリティプラットフォームを手掛ける。顧客はグローバル企業、政府公共機関、医療機関などの大手が中心だが、最近では買収を積極的に行ないSMB（中堅・中小企業）市場の開拓を拡大中。				
6	INTUIT INC (インテュイット)	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.21%
	SMB（中堅・中小企業）や個人、プロ（会計士や税理士など）向けに業務用会計ソフトを開発・提供する。この数年はクラウド型ビジネスへの移行にリソースを集中し大きく業績基盤を拡大してきている。2020年12月にはフィンテック企業Credit Karmaを買収し、さらにビジネス版図を拡大し成長機会の拡大に拍車をかけている。				
7	DR. ING. H.C. F. PORSCHE AG (ポルシェ)	ドイツ	ユーロ	自動車・自動車部品	2.13%
	高級スポーツカーを設計・製造。大手自動車グループフォルクスワーゲン社の傘下にあったが、2022年9月に独立・上場。フェラーリやランボルギーニなどの超高級・ニッチラグジュアリーブランドと比較すると若干低単価・大量生産というポジショニング。台当たり単価に加え車両数量を通じた成長を目指す。				
8	ORACLE CORPORATION (オラクル)	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.03%
	世界的なデータベース管理やERP等のソフトウェア開発企業。企業や政府のデータベースや基幹システム市場において高いシェアを有する。M&Aも積極的に手掛けながら事業拡大を行なっている。				
9	ACCENTURE PLC (アクセンチュア)	アイルランド	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.94%
	コンサルティングサービス会社。経営・技術に関するコンサルティングサービスおよびソリューションを提供。世界中の各業種を対象とした特殊技術とソリューションに従事。				
10	MICROSOFT CORPORATION (マイクロソフト)	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.70%
	「地球上のすべての個人とすべての組織が、より多くのことを達成できるようにする」というミッションを掲げる世界最大のソフトウェア会社。働き方改革やIoT社会の実現に向け、PCを動かす基本ソフト（OS）の世界シェア首位の同社がカギを握る。				

※国は原則として発行国を表示しています。なお、国には地域が含まれます。

※業種は原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しています。

※組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

## 銘柄紹介（2022年12月30日時点）

	銘柄名	国	通貨	業種	組入比率
1	TETRA TECH, INC	アメリカ	米ドル	商業・専門サービス	2.26%
2	DEERE & CO	アメリカ	米ドル	資本財	2.23%
3	TJX COMPANIES INC	アメリカ	米ドル	小売	1.95%
4	FERRARI NV	イタリア	米ドル	自動車・自動車部品	1.85%
5	LVMH MOET HENNESSY-LOUIS VUITTON SE	フランス	ユーロ	耐久消費財・アパレル	1.82%
6	MTU AERO ENGINES AG	ドイツ	ユーロ	資本財	1.72%
7	WORKDAY, INC	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.70%
8	THE HERSHEY CO	アメリカ	米ドル	食品・飲料・タバコ	1.68%
9	MICROSOFT CORPORATION	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.51%
10	CADENCE DESIGN SYSTEMS, INC	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.37%
11	ROSS STORES INC	アメリカ	米ドル	小売	1.30%
12	DR. ING. H.C. F. PORSCHE AG	ドイツ	ユーロ	自動車・自動車部品	1.28%
13	HERMES INTERNATIONAL	フランス	ユーロ	耐久消費財・アパレル	1.28%
14	CARRIER GLOBAL CORPORATION	アメリカ	米ドル	資本財	1.20%
15	EMERSON ELECTRIC CO	アメリカ	米ドル	資本財	1.18%
16	TYSON FOODS, INC	アメリカ	米ドル	食品・飲料・タバコ	1.14%
17	SERVICENOW INC	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.12%
18	ROCKWELL AUTOMATION, INC	アメリカ	米ドル	資本財	1.03%
19	COMPAGNIE FINANCIERE RICHEMONT SA	スイス	スイス・フラン	耐久消費財・アパレル	1.02%
20	O'REILLY AUTOMOTIVE, INC	アメリカ	米ドル	小売	1.02%
21	BILL.COM HOLDINGS, INC	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.00%
22	BJ'S WHOLESALE CLUB HOLDINGS, INC	アメリカ	米ドル	食品・生活必需品小売り	0.98%
23	OTIS WORLDWIDE CORPORATION	アメリカ	米ドル	資本財	0.96%
24	INTERNATIONAL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	0.95%
25	TEXAS INSTRUMENTS INC	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	0.95%
26	MACQUARIE GROUP LTD	オーストラリア	オーストラリア・ドル	各種金融	0.95%
27	ALPHABET INC	アメリカ	米ドル	メディア・娯楽	0.94%
28	ASML HOLDING NV-NY REG SHS	オランダ	米ドル	半導体・半導体製造装置	0.93%
29	AMAZON.COM, INC	アメリカ	米ドル	小売	0.92%
30	MOTOROLA SOLUTIONS, INC	アメリカ	米ドル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	0.88%

※国は原則として発行国を表示しています。なお、国には地域が含まれます。  
 ※業種は原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しています。  
 ※組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

ご参考：市場動向

MSCI ACWI ex JAPAN(配当込み)(米ドルベース)の推移



当月騰落率 +1.70%

米ドル／円の推移



当月騰落率 -2.05%

ユーロ／円の推移



当月騰落率 +0.77%

香港ドル／円の推移



当月騰落率 -2.13%

※MSCI ACWI ex JAPAN（配当込み）はBloombergのデータを基に作成しております。なお、MSCI ACWI ex JAPANの当月騰落率は、基準価額への反映を考慮して、月末前営業日の指数値を基に算出しております。

※MSCI ACWI ex JAPANは当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。なお、MSCI ACWI ex JAPANは配当込みで、米ドルベースです。

MSCI ACWI ex JAPANは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国、新興国の株式を対象として算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

※為替レートは一般社団法人 投資信託協会が発表する仲値（TTM）です。





## 思ったよりも悪くない

3月の株式市場は、米シリコンバレー銀行の破綻による金融不安と景気後退懸念による投資家心理の悪化で一時下落し、為替市場も下期の米金利上昇の打ち止め～利下げ期待を織り込み一時円高に振れましたが、各国による迅速な流動性供給や金融機関への支援により市場は月末にかけて落ち着きを取り戻しました。このような中、ひふみワールドも3月前半は非常に厳しい推移となりましたが、月末にかけて株式市場が徐々に値を戻したことで、また投資対象の中心が私たちが既にポートフォリオに組み入れていたキャッシュ創出力の高い企業群へと移ったことが追い風となり、為替の円高基調を補い3月のパフォーマンスは前月比ほぼ横ばいとなりました。

さて注目されていた3月のFOMC（連邦公開市場委員会）では事前予想通りの0.25%利上げとなりました。利上げの一時棚上げや利下げとなることはありませんでしたが、結果的にそれが良かったと見ています。もし利上げを実施しなければ「金融システムの不安はそこまで深刻なのか」という疑心暗鬼を増幅し、更なる金融ドミノ倒しを誘発したかもしれないからです。FRB（連邦準備制度理事会）とFOMCが連銀法によって金融政策の運営にあたり求められているのは「物価の安定」と「雇用の最大化」という2つの法的使命であり、それは世界恐慌により大量の失業者を生んだ反省から雇用最大化の義務に政府が責任を負うとしたことに始まります。従って既に金融システムの維持に対し迅速な対応が図られている現状では利下げに転じる必要はなく、実際に株式市場も23日以降に上昇傾向に転じていることから今回の決定を信任したと見るべきでしょう。

「思ったよりも悪くない」、そんな雰囲気相場に漂っています。ただ、今後は実体経済への影響には注意が必要です。銀行による融資基準の厳格化や金利上昇によるバリュエーションの低下を契機とするスタートアップ企業の資金調達の困難さなどが今回の金融不安により加速し、それらが実体経済に影響を及ぼすリスクです。米企業経営者との面談では融資基準厳格化の影響は今のところ確認されていませんが、一部米ベンチャー企業の資金調達の際の企業評価が2年前の約半分になっているケースもあり警戒しています。

このような環境下で、我々はチーム一丸となって景気後退を含めたさまざまなリスクに対応できる全天候型の運用を、引き続き心がけてまいります。ひふみワールドをどうぞよろしくお願いいたします。

(3月31日)



代表取締役副社長  
未来戦略部長  
ひふみワールド運用責任者  
湯浅 光裕

※組入比率など運用についての記述は、すべてひふみワールドマザーファンドに関するご説明です。

※当資料では「ひふみワールドマザーファンド」のことを「ひふみワールド」と略する場合があります。



## 米国の中堅銀行破綻で投資環境見通し急変 金融政策転換(利上げ停止、利下げ)観測急浮上

米国の複数の中堅銀行が3月前半に経営破綻しました。規制当局(米財務省、FRB、FDIC)は金融危機回避のために預金全額の保護や緊急流動性供給措置を発動しましたが、世界金融大手クレディ・スイス(CS)の信用不安に波及しました。これに対し、主要6中央銀行は協調してドル資金の供給拡充を少なくとも4月末まで行なうと発表、スイス政府・中央銀行の働きかけでスイス最大手のUBSがCSの救済合併を決定、当局による金融危機防止策の発動で金融不安は後退し、現状小康状態にあります。投資環境面では米金融政策の転換(利上げ停止、利下げ)観測が台頭するなど急変の様相です。今回の金融ショックに対して、米国のS&P500種など平均株価は金融政策転換観測が波乱を吸収して底堅い展開ですが、地方銀行株は急落後の安値圏で推移しています。

米国の銀行破綻の構図は、コロナ禍対策の「巨額の財政出動(家計や中小企業への現金給付)と金融緩和」によって銀行の預金が急増、半面では有価証券投資・貸出(低利の債券投資、固定金利融資)も増大しましたが、「巨額の財政出動と金融緩和」が物価高騰を招き、2022年春以降の強硬な金融引き締め(金利急騰、さらに長短金利逆転・逆ザヤ)で一転、預金流出、債券投資や固定金利融資の損失増大を招き、銀行の収益やバランスシートが急激に悪化したことにあります。

80年代半ば以降の米国の金融引き締め局面を振り返ると、最終盤で金融危機や、新興国の通貨危機が発生するケースが殆どでした。前者の典型が2008年の世界金融危機(GFC)であり、後者が97年のアジア通貨危機でした。そして、いずれのケースも金融政策は利上げの停止、利下げに政策転換し、危機対応を図りました。米国の金融政策は今回、インフレ抑制のために引き締めに継続するのか、金融不安抑制のために利下げに転じるのか、難しい選択を迫られています。金融政策の転換(利上げ停止、利下げ)時期が接近していると予想します。

今後の米国経済、そして世界経済を占う上で、預金が流出し、経営環境が厳しい米国の銀行がどの程度、与信を厳格化するのかが注目されます。与信厳格化は信用収縮的な引き締め効果を現出し、特に不動産関連融資の抑制は昨今の米物価高騰の一因になっている住居費(家賃)の抑制に効くなど、物価減速の流れを後押しするでしょう。また、信用収縮は景気に対して強い重石になるため、信用収縮の兆候が見えてくれば、金融政策は一気に緩和に転じるでしょう。

世界金融危機時と比べて今回は、米国の家計や企業が過剰債務・過剰投資に陥っておらず相対的に健全だと推察されます。また、世界経済には①コロナ収束に伴う経済再開とサービス消費の同時的拡大、②ハイテク中心に東西(米中)両陣営のサプライチェーン再構築・投資ブームという強いドライバーがあります。主要国経済・企業収益(予想EPS)は深刻な不況(景気後退)を回避しながら軟着陸する可能性があるかと推察します。2022年は米国や欧州株が弱気相場となりましたが、2023年は市況好転、日本株は約2年間のボックス相場を上抜ける展開が期待されます。米金融政策が教訓を活かし大胆な利下げで金融危機を回避できるかがカギになりそうです。

米国株をはじめ現状の主要国株式は、米金融政策転換の先取相場の様相です。物色面では世界的な経済再開で恩恵を受けるサービス消費関連やシリコンサイクル(世界半導体出荷額)の底入れ接近観測からハイテク株が市場人気を集めるなど、成長株優位化の流れになりそうです。

(4月4日)

## 運用メンバーからのメッセージ

毎月、トピックを用意して運用メンバーのコメントを集めています。  
多様な考えや価値観をお届けすることを通じて、新しい視点を持っていただくきっかけになれば幸いです。

### 今月のトピック

少しずつ暖かくなってきましたが、春といえば何を連想しますか？



Fujino Hideto  
藤野 英人  
代表取締役会長兼社長  
最高投資責任者

正月をむかえるときにはなぜか新しい年を迎える喜びしかないですが、春になると嬉しさ以上に悲しみも広がります。おそらく、4月が卒業や入学などのイベントがあり、新年度を迎える気持ちが強く、正月よりも一年の重みを感じるからでしょう。



Yuasa Mitsuhiro  
湯浅 光裕  
代表取締役副社長  
未来戦略部長

三寒四温を体感し、そぼふる雨を眺めながらこぬか雨、春時雨など表現の豊かさを思い起こします。



Watanabe Shota  
渡邊 庄太  
運用本部長  
株式戦略部長  
シニア・アナリスト  
シニア・ファンドマネージャー

タケノコです。山歩きが好きな親戚から送ってもらったものを、自分で茹でて炊き込みご飯などを作っていました。最近は手間暇掛けてきちんと調理できておらず、ちょっと寂しい気もします。



Yatsuo Hisashi  
八尾 尚志  
シニア・アナリスト  
シニア・ファンドマネージャー

「春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、少しあかりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる」という文章が頭に浮かびます。枕草子はこの後「夏は夜」、「秋は夕暮れ」、と続くわけですが、これらはすべて「モノ」ではなく「時間」という全ての人に等しく与えられ、そして時代を超えて必ず感じられるものです。そこに趣があるとする清少納言の美意識と表現の素晴らしさに本当に感心するのです。



Sasaki Yasuto  
佐々木 靖人  
シニア・アナリスト  
シニア・ファンドマネージャー

花粉、桜、入学式、新入社員、出会い、そして期初ガイダンスの決算発表シーズンを想起します。新入社員で思い出したのですが、4月に突然現れ、5月にはあの初々しい集団はいなくなりますよね。何かの集団に溶け込むのにかかる期間は1ヶ月くらいなんじゃないでしょうか。



Wei Shanshan  
韋 珊珊  
シニア・アナリスト  
シニア・ファンドマネージャー

万物が蘇り、木々に色鮮やかな新芽が出て、希望と変化に満ちた美しい季節です。厳冬を終え、これからの一年～と考えると、いつもわくわくします。



## 運用メンバーからのメッセージ



Takahashi Ryo  
高橋 亮  
シニア・アナリスト  
シニア・ファンドマネージャー

夏を連想します。とにかく蒸し暑くて不快な夏が嫌いすぎるあまりに、春になると「ああ、もうすぐ夏が来る…」と陰鬱な気分になります。それだけ夏が本当に苦手です。冬が終わると、ひたすら秋の便りだけを楽しみに待つことになります。



Senoh Masanao  
妹尾 昌直  
シニア・アナリスト

心機一転、始まりを連想します。運用で勝っても負けても、心あらたにまた頑張ろうと思わせてくれる季節です。また周囲が賑やかになることもあり、なんとなく自分も落ち着かず浮かれてしまう傾向があるので、身を引き締めていこうと思う季節でもあります。



Oshiro Shintaro  
大城 真太郎  
シニア・アナリスト

花粉症の苦しみをプロ野球で紛らわす季節



Naito Makoto  
内藤 誠  
シニア・アナリスト

上野公園の桜を思い浮かべます。家からも近いので3月後半になると見に行くようにしています。学生にとっては新学期、社会人にとっては新年度と、桜を見るたびにいつも新しいスタートラインに立つ気持ちになります！



Moriyama Haruki  
森山 治紀  
アナリスト

先日近所の川を通りかかったので覗いてみると、冬眠明けのスッポンがゆっくりと泳ぐ様子を確認できました。春ですね。



Matsumoto Ryoga  
松本 凌佳  
アナリスト

太陽の光を浴びながら、景色の良いところを自転車でのんびり進むことが好きです。そういう意味では、手袋をしなくても手がかじかむことがなくなったとき、春を感じます。春の暖かさに包まれていると、甘いものが食べたくなります。ソフトクリームやお団子、暑いくらいの日ならかき氷が脳裏に浮かびます。

### 収益分配金の仕組みについて

- 収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」の区分があります。
- 収益分配金支払い後の基準価額が、そのお客様（受益者）の個別元本と同額の場合または上回っている場合には、当該収益分配金の全額が「普通分配金」となります。普通分配金は、配当所得として課税対象になります。
- 収益分配金支払い後の基準価額がそのお客様（受益者）の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が「元本払戻金（特別分配金）」となります。当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額は普通分配金となります。元本払戻金（特別分配金）は、実質的に元本の一部払い戻しとみなされ、非課税扱いとなります。お客様が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、その後の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

## 運用メンバーからのメッセージ



Miyake Kazuhiro  
三宅 一弘  
運用本部  
経済調査室長

春は桜、ハナミズキ、つつじなど自宅周りの草木が一斉に花咲く季節ですが、1990年頃に比べて2~3週間早く花咲くことに驚いています。鰹やタケノコ、空豆・・・と美味しい食材が楽しみな季節です。昨年度は米利上げに終始しましたが、新年度は利下げと株価好転に期待したいです。



Hashimoto Yuichi  
橋本 裕一  
マーケットエコノミスト

小学生の頃、次の学年に上がるとゲームのレベルアップのようにとても成長するのだろうと常日頃思って生活していました。しかし実際4月に学年が1つ大きくなって、それだけでは自分のココロもカラダも全然成長しないことに気づきました。人間そんなにすぐには変わらないんだなぁと毎年春に感じていました。

## お知らせ

### お金のまなびば！新着動画

投資やお金を楽しく学ぶYouTubeチャンネル「お金のまなびば！」では、新動画を続々アップ中です！今回は、インフルエンサーの田端信太郎さんとCAMPFIRE代表としても知られる家入一真さんをお呼びした対談動画が公開されました。ぜひご視聴ください！



【前編】お金があれば自由？堀江貴文に学ぶお金観  
【中編】前澤友作から学んだお金の考え方  
【後編】新社会人必見!! 社会で重宝される人材になるためには



【前編】引きこもりから社長へ 絶望からの脱却  
【後編】生きづらい環境から一歩踏み出せる社会へ

### ひふみ公式LINEアカウント



ひふみ

「ひふみ」を運用するレオス・キャピタルワークスはお客様に向けてLINEでの情報提供を始めました。お客様と長期的な資産形成を一緒に行なっていくためにさまざまな情報をお届けします。

こちらからLINEお友だち登録をお願いします  
またはLINEにて「ひふみ」で検索

#### LINEでできること

- ✓ ひふみ口座へのログイン
- ✓ 記事コンテンツ、映像コンテンツの配信をお知らせ
- ✓ 当社イベント・セミナーのお知らせと申し込み
- ✓ メニュー画面からYouTube「お金のまなびば！」へ簡単アクセス
- ✓ 随時、ひふみからの記事や動画のお知らせも届きます！

## ひふみワールドの特色

「ひふみワールド」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 日本を除く世界各国の株式等を主要な投資対象とし、成長性が高いと判断される銘柄を中心に選別して投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 株式の組入資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ④ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

## ひふみ投信の特色（ご参考）

「ひふみ投信」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 国内外の上場株式を主要な投資対象とし、市場価値が割安と考えられる銘柄を選別して長期的に投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

## ひふみらいとの特色（ご参考）

「ひふみらいと」は、投資信託証券への投資を通じて、主として内外の株式および内外の債券に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。

- ① 投資信託証券への投資を通じて、世界の株式および債券等に分散投資を行ないます。
- ② 原則として、株式に約10%、債券に約90%投資します。

### 投資リスク

#### ■ 基準価額の変動要因

- 投資信託証券への投資を通じて株式など値動きのある証券（外国の証券には為替リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- 投資信託は預貯金等とは異なります。

#### ■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。
カントリーリスク (エマージング市場 に関わるリスク)	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の不整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

### 当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- セミナー等で金融商品の説明等を行うことや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまでお客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものではありません。



## お申込メモ

	ひふみワールド	ひふみ投信（ご参考）	ひふみらいと（ご参考）
商品分類	追加型投信／海外／株式	追加型投信／内外／株式	追加型投信／内外／資産複合
当初設定日	2019年10月8日	2008年10月1日	2021年3月30日
信託期間	無期限		
決算日	毎年2月15日(休業日の場合翌営業日)	毎年9月30日(休業日の場合翌営業日)	毎年4月15日(休業日の場合翌営業日)
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。分配金再投資専用のため、分配金は自動的に再投資されます。		
購入単位	1,000円以上1円単位の金額指定で受け付けます。		
購入価額	ご購入のお申込受付日の <u>翌営業日の基準価額</u> （1万口当り）		
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。		
換金(解約)単位	1口以上の口数指定または1円単位の金額指定で受け付けます。		
換金価額	換金申込受付日の <u>翌営業日の基準価額</u> （1万口当り）		
換金代金	換金申込受付日から起算して5営業日目から支払われます。		換金申込受付日から起算して6営業日目から支払われます。
購入・換金 申込受付 不可日	ニューヨーク証券取引所または香港証券取引所のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行いません。	—	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、香港証券取引所、香港の銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行いません。
申込締切時間	購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。		
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。		

## お客様にご負担いただく費用

◇直接ご負担いただく費用：ありません。

申込手数料・換金（解約）手数料・信託財産留保額 は一切ありません。なお、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇間接的にご負担いただく費用：次のとおりです。

	ひふみワールド	ひふみ投信（ご参考）	ひふみらいと（ご参考）
運用管理費用 (信託報酬)	信託財産の日々の純資産総額に対して <b>年率1.628% (税込)</b> を乗じて得た額	信託財産の日々の純資産総額に対して <b>年率1.078% (税込)</b> を乗じて得た額	ひふみらいと：信託財産の日々の純資産総額に対して <b>年率0.55% (税込)</b> を乗じて得た額 投資対象とする投資信託証券(ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用))：純資産総額に対して <b>年率0.0022% (税込)</b> 実質的な負担※：純資産総額に対して <b>年率0.5522% (税込) 程度</b>
信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産から支払われます。 ※投資対象ファンドを基本の組入比率で按分した投資対象ファンドの運用管理費用（信託報酬）を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。この値は目安であり、各投資信託証券への投資比率の変更等により変動します。また、投資対象ファンドの変更等により今後変更となる場合があります。			
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%（税込）以内を乗じて得た額。監査費用は監査法人との契約条件の見直しにより変更となる場合があります。日々計算されて、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。		
その他費用・ 手数料	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。	投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。	
	これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。		

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## ファンドの関係法人

委託会社：レオス・キャピタルワークス株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号  
 加入協会 一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 受託会社：(ひふみワールド)三菱UFJ信託銀行株式会社  
 (ひふみ投信)三井住友信託銀行株式会社  
 (ひふみらいと)三井住友信託銀行株式会社  
 販売会社：レオス・キャピタルワークス株式会社

## 各ファンドについてのお問い合わせ先

  
 RHEOS CAPITAL WORKS  
 レオス・キャピタルワークス株式会社  
 コミュニケーション・センター  
 電話：03-6266-0123 メール：cc@rheos.jp  
 受付時間：営業日の9時～17時  
 ウェブサイト：https://www.rheos.jp/